

# 長友明・真理子夫妻、優秀賞に輝く！

## ～平成16年度 畜産大賞 経営部門～

平成16年度の畜産大賞(優秀畜産表彰等事業)の表彰式が2月7日に東京都 虎ノ門パストラルで行われ、「遊休地を活用し経営規模拡大を目指す都市近郊肉用牛経営」と題した長友明・真理子夫妻(肉用牛繁殖経営)が経営部門の優秀賞を受賞されました。

昨年度の全国優良畜産経営管理技術発表会最優秀賞(農林水産大臣賞)につづく受賞になります。

長友明・真理子夫妻は、現在、肉用牛繁殖雌牛

96頭、育成牛4頭、子牛56頭、肥育牛4頭を宮崎市塩路で飼育しており、審査にあたっては、地域条件を最大限に活用した大規模肉用牛繁殖経営として、以下の点が高く評価されました。

県立農大卒業後、22年をかけて自家生産牛を中心に着実な規模拡大を進め、100頭規模の肉用牛繁殖経営を築きあげた。

平均分娩間隔12.4ヶ月、子牛販売価格は市場比109%と、大規模経営であるにもかかわらず生産技術および収益性が高い。

園芸地帯に散在する遊休地を借入し、自生のメヒシバの活用も図って、52.4%という高い飼料自給率を達成している。

なお、現在肥育牛4頭の飼養ですが、目標である一貫経営へ向けて、肥育牛50頭規模に増頭するために新牛舎の建築が進められており、更なる経営発展が期待されています。

本事業は、我が国畜産の「経営」、「指導支援」、「地域振興」、「研究開発」各分野において、成果をあげ模範となる事例を全国から広く募り、選考して表彰するとともに、その優れた取り組みの成果を幅広く情報提供し、普及啓発を図ろうというものです。

本県からは、このほか、県乳用牛肥育事業農業協同組合が「指導支援部門」の最優秀賞を受賞されました。徹底した資金管理を伴った経営指導、古電柱を利用した共同作業による牛舎建設等の生産コスト低減の推進を図ることで、1戸当たり平均560頭の大規模経営者群を育て上げました。また、ほとんどの組合員に後継者が確保されており、組合員の経営安定と産地の発展をもたらしていると高く評価されました。



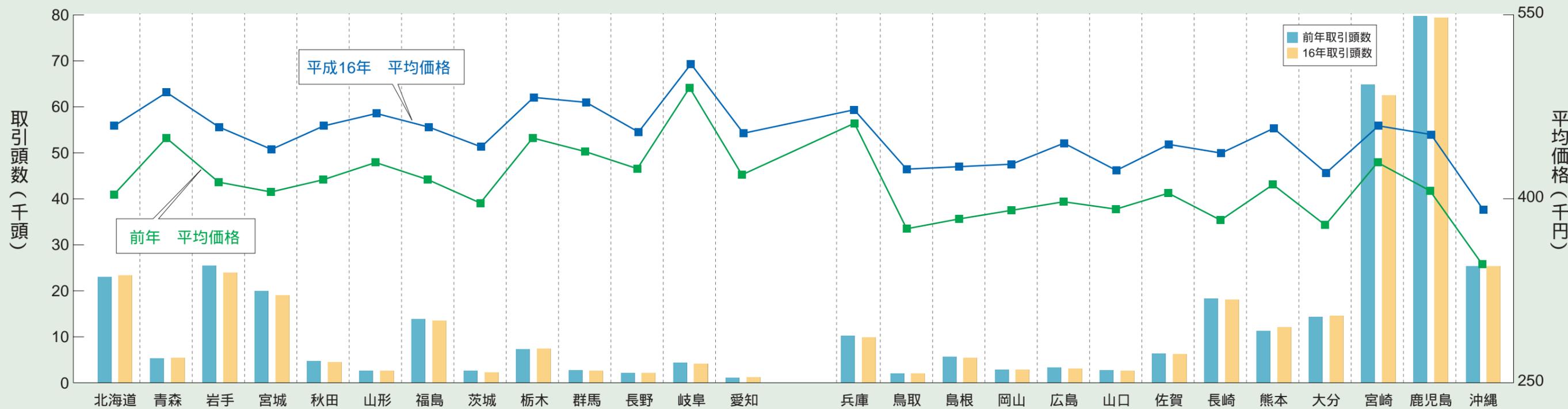
<スタンション牛舎>  
繁殖牛を後ろから観察でき、発情兆候が確認しやすくなっています。種付け、妊娠鑑定はこの牛舎で行われています。



<子牛の保温箱>  
保温箱を分娩舎とスタンション牛舎に設置されています。これにより、冬場の子牛の下痢が少なくなっています。

### 平成16年次都道府県別子牛取引頭数及び

### 平均取引価格(黒毛和種) 取引頭数が1,000頭以上の都道府県



(単位:千円、頭)

県名	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	長野	岐阜	愛知	兵庫	鳥取	島根	岡山	広島	山口	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国
平均価格	458	485	457	439	458	468	457	441	481	477	453	508	452	471	423	425	427	444	422	443	436	456	420	458	451	390	448
16年取引頭数	23,377	5,464	23,943	19,034	4,465	2,602	13,508	2,309	7,472	2,649	2,125	4,194	1,195	9,881	2,097	5,490	2,894	3,130	2,645	6,241	18,079	12,181	14,622	62,550	79,361	25,430	356,938
前年価格	403	449	413	405	415	429	415	396	449	438	424	490	419	461	375	383	390	397	391	404	382	411	378	429	406	346	408
前年取引頭数	22,994	5,348	25,540	19,999	4,731	2,639	13,862	2,612	7,347	2,766	2,223	4,387	1,172	10,238	2,100	5,692	2,816	3,301	2,770	6,402	18,330	11,354	14,343	64,832	79,729	25,345	366,611

注1)平均価格については、消費税込みの価格である。注2)頭数については、売却頭数を示す。  
注3)データについては、独立行政法人農畜産業振興機構の「全国肉用子牛取引情報(月報)」から引用した。